

事務所 コード	路線名	地点名	No.		環境基準 超過・非超過		要請限度 超過・非超過		騒音レベル (dB)		車 線 数	測定地点の 指定状況		測定位 置情報	区 間 延 長 (km)	環境 基準の 類型指 定延長 (km)	騒音規 制区域 延長 (km)	評 価 延 長 (km)	沿 道 状 況	道路条件			環境対策設置延長(km) [片側換算]					遮音 壁 高 さ (m)	併設道路		沿道建物		測定データ	
			調査 単位 区間 番号	区間内 番号	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間 Leq	夜間 Leq		環境基 準類型	騒音規 制区域	測定点 側の車 道中央 との距 離 (m)						道路 敷幅 (m)	道路 形態	舗装 種別	環境 施設帯	遮 音 壁	高架 表面 吸音板	低 騒音 舗装	新型 遮音壁		併設 道路の 有無	道路 形態	測定点 背後 反射物 の有無	沿道 建物の 状況	調査種 別番号	実測 調査 年度
03	一般国道17号	群馬県藤岡市立石字萩谷戸1267-1	1001	1	×	×	×	×	76	75	4	○	○	7.5	0.7	0.70	0.70	0.70	平地部	20.0	平面	密粒As	.0	.0	.0	.0	.0	—	無	—	無	無	1	2001
03	一般国道17号	群馬県藤岡市字立石599	1001	2	×	×	×	×	76	74	4	○	○	5.8	3.2	3.10	3.00	3.10	DID	20.0	平面	排水性As	.0	.0	.0	6.4	.0	—	無	—	無	無	1	2001

下表は、平成13年度道路環境センサスとして直轄国道で行った調査結果を調査地点別に表示したものである。

騒音の新環境基準との比較は、全ての調査地点を対象に行っているが、調査地点において環境基準の類型指定がなされていない場合は、超過・非超過の状況を（ ）付きで表示した。

表示順位は、都府県支庁指定市別、路線番号別、調査単位区間番号の順で並べた。

「—」は入力データが無いことを示す。

環境基準、要請限度超過・非超過状況

○ ：非超過

× ：超過

() ：環境基準類型指定または
騒音規制区域指定の対象外

環境基準：昼間70dB 夜間65dB

要請限度：昼間75dB 夜間70dB

(5～10欄)

車線数は、併設道路を含む。(11欄)

環境基準類型、騒音規制区域の指定状況は、

○：指定有り

空白：指定無し とした。(12～13欄)

環境基準の類型指定延長は、上下車線別に求め、その合計を2で除した。(16欄)

評価延長とは、環境基準の類型指定地域または騒音規制区域を通過する延長を示す。上下車線別に計上し2で除した値としている。

環境対策設置延長は、上下車線別に設置された延長の合計となっている。(23～27欄)

遮音壁高さ(28欄)は測定地点における値のため、設置延長の有無にかかわらず「—」と表記される区間もある。

舗装種別は以下に示すとおり(22欄) 沿道建物の状況は以下のとおり(31～32欄)

密粒As：密粒アスファルト

排水性As：排水性アスファルト

その他As：その他のアスファルト

コンクリート：コンクリート

その他：その他

両側：両側に建物がある

測定側：測定側のみ建物がある

反対側：測定点の反対側のみ建物がある

無：両側とも建物がない

不明：不明

調査種別番号(33欄)は以下のとおり

1：平成13年度実測

5：前年度データを補完